

平成26年10月1日(水)

老球の細道67号 バスケットボール誕生秘話VIII

「ネイスミス の 生涯 <その4>」

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

バスケットボールを愛している人にぜひ読んでもらいたい本がある。『バスケットボール その起源と発展』(J・スミス著 水谷豊訳 YMCA出版)。この本は30年前に購入し、10年前に知人に貸してから行方不明になっていた。昨年なんとしても再読したくなり、訳者の水谷豊氏(日本バスケットボール協会国際部長、大学教授)に直接お願いして、絶版になりかける前になんとか購入できた。その時は、あまりのうれしさとYMCA出版に敬意を表して、西城秀樹のYMCAの舞を演じてしまった。

なぜ読みたくなったのか。それは、私が「バスケットボールを愛する」と宣言しているにもかかわらず、バスケットボールの成り立ちを何にも知らない、バスケットボールの創案者J・ネイスミスについて何もわかっていないのではないかと自責の念にかられたからである。長い間(これからも)、私に生き甲斐を与えてくれた大恩人なのに……。

「愛する」のレベルは、「好き」、「恋している」以上の好意感情である。そのような観点から、バスケットボールやジェームス・ネイスミスについてまだまだ愛したりなかった。まだまだすべてを知り尽くしていなかった。

この本は30年前に読んでいたが、もう一度読み直して見ると、新しい発見が盛りだくさんだった。30年間のバスケットボール活動が、再読に深い理解と感動を付加してくれた。まさに読書百編意自ら通ず。読書は時を経るごとに繰り返し読めば、そこに年月と経験が触媒となり新たな理解が得られる。著者の深い意図も新たにわかってくる。

今までネイスミスの人となりについてまったく目に止まらなかった。未熟だった。ネイスミスは、1861年11月6日に生まれ、1939年11月18日に他界した。以下は氏に対する質問と答えである。

- *好きな色：ブルー。
- *好きな花：オランダカイウ。
- *好きな男性名：ジム(Jim) 自分の名前(Jamesの略称)
- *好きな女性名：マギー(Maggie) 母の名前(Margaretの略称)
- *趣味：チェス。(ビール飲みとサスペンスドラマ鑑賞の私とは段違い)
- *好きな仕事：朗読もしくは、人を教えること。
- *男性として最も大切なこと：名誉。
- *人間として、もっともいやなもの：うわべだけのこと。見せかけ。
- *大嫌いなもの：痛飲(すみません!)
- *「幸福」という言葉から連想すること：「性分に合った仕事をすれば健康に恵まれる」
- *この世で最もうれしい言葉：「あなたのおかげで助かりました」
- *この世で最も悲しい言葉：「間違っているとわかっているのに、平気さ」
- *信条：「善を尽くし、純粋であれ」

これらはネイスミスが27歳の時(1888年)に書いたものである。

このプロフィールからネイスミス博士の“人生への姿勢”が見えてくる。このような人物が私たちの愛するバスケットボールを創案したのである。